

ヒアリングにおける論点等（委員発言要旨）

「日常の身近な暮らしの安心の確保」

【消費者センターについて】

■市と道の役割分担が不明確

- ・市がやらなければならない理由が全く見えない。啓発に関しても道とのすり合わせをやっておらず、同じサービスが受けられるよりどころということ以上の回答がなかった。
- ・法律上の文言を読めば、基礎自治体は消費者の一番身近なところにあると命じられており、道は自治体同士にまたがった連携を行うという話になっている。
- ・市に言って、市がやめるという選択肢がいいのかどうかは難しいところ。
- ・2つあって閑古鳥が鳴いているのであれば非効率ということだが、互いにニーズがあるという実態であれば、この件に関しては、最後の最後に解消すべき二重行政のテーマなのではないか。

■市独自の取組が欲しい

- ・例えば、広報さっぽろでの啓発など、札幌市で受けた相談事例を紹介し、市民にフィードバックするなど、札幌市ならではのサービスがあれば、札幌市がセンターを持っている意味があると思うし、区役所でもいろいろ取り組んでいるなどの話があれば、道と市の違いに対する答えになったのではないか。

■市としての今後の方向性を示してほしい

- ・金融商品など専門的なことが増えてきた状況に対してどのように取り組んでいくのか、今後の中長期的なビジョンで、市としての方針が示されるとクリアになると思う。
- ・市や国にそれぞれ特色があるというのが望ましいのか、それとも、どこも同じ水準のサービスを受けられることが望ましいのか、判断がつかない。

■道との連携手法が不明確

- ・連携手法について、連絡していないのかと言えば、それはしているというが、どういう連携がよくわからない。

【DV 等について】

■検証手法が必要

- ・どの程度の忙しさなのか、検証できるようなデータが必要。
- ・検証するには、手間を掛ければ、相談カードなどでデータを取ることはできるのではないか。

■今後の方向性を示してほしい

- ・より良くしていくために、人員配置や効率性、相談員の技術といった点のどこを強化すればいいのかわからない。
- ・現状を改善する、次の段階が見えていないのではないか。

■相談にあたる職員へのケアが心配

- ・非合理的な面が多く、心の余裕がないと、相談を受ける側がつぶれる心配がある。

ヒアリングにおける論点等（委員発言要旨）

「道都札幌を支える交通体系の構築」

■ 今後どのように SAPICA の普及を図っていくか

- ・ 今後 I Cカードに誘導していこうとするのであれば、プレミアムだけの問題ではないと思うが、利用者にとってのメリットがないとかなかなかウィズユーカードから移行しない。どうやって SAPICA の普及を図っていくかが大きな課題である。
- ・ SAPICA の普及を見きわめてウィズユーカードをやめる、両方を並行していけばそのうち SAPICA に移行する、というのは、政策としてはよくない。早目の判断が必要だと思う。
- ・ 交渉事なのはわかるが、現行の SAPICA は片利用の状態、他のところは相互利用できているのに、なぜ札幌だけできないのかというのが、市民に理解されないとこらだと思う。
- ・ そもそも SAPICA を普及させていく一番の目的が何かということがわからない。一番は地下鉄を利用してもらおうということであれば、そこにもう少し絞ってもいいのではないか。
- ・ SAPICA が札幌市外でも使えるようになったことは、ものすごくメリットが大きかった。

■ 子供への啓発活動を行う

- ・ 啓蒙活動に本腰を入れるなら、小学校で必ず全校、全学年に、いかに公共機関がすばらしく、環境問題の中で必要かということをやっていかなければならないと思う。

■ 市電車両の導入方法を検討できないか

- ・ 市電の車両は、まとめて入れるから安くしてほしいとメーカーとの交渉はできるはずである。計画を立てて行えば、コスト面でもやりようがあるのではないか。

■ 利用者減少に対する取組を進める

- ・ 市電やバスは、利用が少ないところでも、その地域の住民には必要であり、また都市機能も一定程度維持すべきだと思う。多くの税金がかかる問題と考えられるため、さらなる市民理解のために、しっかり説明すべきではないか。
- ・ バス路線の存廃を個人の利便性の観点で揃えるのは、限界がある。市民それぞれ生活環境が違うため、市は市の視点で取り組んでいかなければならない。

■ パークアンドライドは事業目的に沿った取組になっているか

- ・ パークアンドライド駐車場利用者の 56%が従来のバス利用者となると、パークアンドライド駐車場のそもそもの目的に抵触しかねないのではないか。

■ バス利用に関する情報がわかりづらい

- ・ バスをもっと利用したいと日ごろ思うが、バスがどこに向かうのかよくわからないし、ネットで調べても、やはりよくわからない。

ヒアリングにおける論点等（委員発言要旨）
「みんなで進めるごみ排出量の抑制とリサイクルの推進」

■ 分別方法の再検討が必要ではないか

- ・ 分別方法に関しては、かなり細かい分け方の指示をした冊子を札幌市で配っているが、書かれているとおりに分別を現実に行うにはなかなか大変。そういった点は、教育、啓蒙をしているということで済んでしまう問題なのか。常識的にわかりやすいリサイクルや廃棄ができればいいと思う。
- ・ 分別の仕方がわかったとしても、そこに合理性があるのかどうかはわからない。書かれているからそのように捨てるが、現在の分別の仕方はおかしいのではないか、と思っている人もいるのではないかと感じる。

■ リサイクルに関する市の考えを示して欲しい

- ・ リサイクルのためにいろいろな天然資源を利用することを考えると、どちらがいいのか悪いのかもわからないという考え方もある。そのため、札幌市ではどのような考えを軸にやっていくのかという説明は欲しい。
- ・ 法で決まってしまうことを、法で決まっていますからとだけ言われてしまうと、結局、よくわからなくなってしまう。

■ 分別をしっかり行う人への配慮

- ・ 分別の仕方がルーズなごみも収集されており、分別をしっかりしている人にとって、ストレスなのではないかと感じる。